

2010.12.1

Contents

3つの国際EXPO同時開催!

2010年度
グッドデザイン賞表彰式

- HABITAな風景
- 住まいは巢まい
- キニナルマドリ
- 住まいのオーダーメイド館403
- 住まい文化の栞
- 住健住康
- Green Earth
- Office HABITA
- 豆ハビ
- 5th ROOM



贅沢な居場所

ごろんと床に横になって、この景色を
独り占めする時間。
休日をたっぷり満喫。
立てば下に広がる田んぼを一望する。
稲の色合いが徐々に変わってゆくのを
見て、季節の移ろいを感じる。
座れば向かいの丘の深い緑。

いつの間にか空が茜色に染まり、
田んぼも山も色合いを変えてゆく。
横になれば、空の広がりには圧倒
される。
私の部屋も、書斎もないけれど、
この場所があれば、それだけで満
足できるくらい、特別で贅沢な私
の居場所だ。

Weekly
HABITA 040

三澤 千代治の

住まいは巢まい

家族の絆を強める

「ファミリーとは、人間のみに神が
許された生活様式である」といわれ
ます。家族が人間にだけ与えられた
生活様式なら、大家族を見直すこと
も大事だと思います。

核家族は、戦後アメリカから入っ
てきたようにいわれていますが、アメリ
カでも上流階層には三世同居が
主流を占めています。ここに生まれ
育った子どもたちは、一族の血を受
け継ぐ教育を受けます。とくに礼儀は
厳しく、男の子は父親や祖父から徹
底したエリート教育を、女の子は母
親と祖母からよき花嫁となるための
しつけを受けます。

ユダヤ王国は2500年前に滅亡し
たにもかかわらず、ユダヤ人は今日ま
で強烈な文化と宗教を維持していま
す。その背景にあるのが、三世同居
という家族制度なのです。ユダヤ人
の商売のうまさ、情報をつかむ巧み
さは、親のノウハウを孫へと伝授す
ることで連綿と受け継がれてきました。

日本でも、子どもにとっては家族の
人数が多いほうが面白いはずで
す。祖父母からは両親と違った話が聞
けるし、男同士、女同士の会話や遊びが
でき、子どもも加わることができる。
それぞれにつながるのです。核家族
化が進むところまで進んだ今、大家
族の三世同居が見直されていいと
思います。子育ての時期には周囲に
たくさんの方がいるほうが、母親に
も、子どもにとっても望ましいといえ
ます。

(MISAWA・international 社長)



3つの国際EXPO同時開催!

HABITAグループ企業・関連企業も出展

10月28日から30日、幕張メッセに世界中の園芸用品や緑化資材、作業用品
が集結しました。第2回国際エクステリアEXPO、第4回国際ガーデンEXPO、
第7回国際フラワーEXPOが同時開催され、国際的な大規模商談会となりまし
た。森田健作千葉県知事のテープカットでオープニングした3つのEXPOは、世
界30か国、1,000社が出展し、期間中のイベントホールは大盛況でした。

「エコ」はエクステリア業界でも重要
なテーマ。国際エクステリアEXPOにも
再生資材を利用した、LED/ソーラーラ

イト、雨水利用装置、太陽光発電シ
ステムなど環境に配慮したエク
ステリア製品が一堂に集まる新ゾー

ンが誕生していました。エコ商材を求め
る工務店やハウスメーカーはもちろん、
「環境緑化フェア」との同時開催のため、
ディベロッパーや官公庁の来場も多く、
普段カタログでしか見られない製品の
現物を一度に見ることができる絶好の
場です。

HABITAグループ企業からは、Weekly
HABITAの5th Roomでもお馴染みの、
和歌山のHABITAタカショーから耐候
性・耐久性に優れ、腐ることもなく、変色
することもないエパーアートウッドによ
る大規模なポーチガーデンを出展。都
心暮らしでのガーデンリフォームをテ
マに、トータルな提案が展示されていま
した。

また、埼玉のHABITA伊田テクノスの関
連企業の東和産業は、省エネ製品のガー
デンライト・LED照明を提案。ソーラーエ
ネルギーにより、外部配線が不要な為、
施工性も高く、人と環境に優しい舗装用
ソーラーライトを展示。夜間の安全性の
向上とともに、夜の雰囲気高めるソー
ラーブリックも出展されて、どちらも注
目を集めていました。

会場の熱気は、HABITA/TVでご覧く
ださい。

2010年度 グッドデザイン賞表彰式

2010年11月10日、東京ミッドタウン・ホールにてグッドデザイン賞の表彰式・大賞選出が行われました。本年度受賞したグッドデザイン受賞者をはじめ、審査委員、報道関係者等、およそ1,200名の参加者で会場は埋め尽くされました。

この度、HABITAで受賞した「松江 堀川モデル」「インテリアキャビネット」も表彰状を受け取り、特別賞として中小企業庁長官賞を受賞した「みんなの家」は、贈賞とともに壇上で紹介されました。



受賞者でにぎわう表彰式

2010年度は、3,136件の審査対象から1,110件の商品がグッドデザイン賞を受賞しました。受賞企業数は640社で、このなかからグッドデザイン大賞候補の15作品(グッドデザイン賞ベスト15)をはじめロングライフデザイン賞やフロンティアデザイン賞などの各賞が選出されています。

グッドデザイン大賞は、毎年3,000点あまりの応募の中から1点だけ選ばれる最高賞です。その選出は、厳しい審査をくり抜けてきた「ベスト15」を対象に、グッドデザイン賞の受賞者と審査委員による投票によって行います。

投票に先立って、ベスト15の受賞者が自分の受賞作品を参加者にプレゼンでアピールします。このプレゼンが投票を左右することがあるため、非常に興味深い内容となります。

一般投票は、インターネット上で大賞を予想するもので、大賞選出には影響がありません。つまり、グッドデザイン賞を受賞した企業が、今年のグッドデザイン大賞を決めるというわけです。プレゼンする企業も、受賞者も、受賞の喜びでにぎわいがありつつも、投票のため真剣です。1次投票で5社に絞られ、2次審査という形で選考が進められました。

この中で今年のグッドデザイン大



賞はダイソン株式会社の「エアマルチプライアー」に決定しました。この模様はHABITA/TVの6ch、「NEWS&EVENTS」でもご覧いただけます。

グッドデザイン 受賞商品の講評

地域に根ざした住まいとして受賞したHABITA「松江 堀川の家」は、島根県のHABITA建装が施工した建物です。松江堀川の町並みを思い起こす外観デザインの中に、古民家のエッセンスを生かし、100年後の再生を目指すデザインを考案した建物です。

住宅部門の審査員からは、「商品化住宅を生産するハウスメーカーの大量生産体制の再編成が始まり、地域に個別化している。総じて、住宅産業全体は保守化傾向にあり、デザインにおいても意欲的な試みがあまり見ら



みんなの家

な簡潔さのなかで、現代家族のライフスタイルを反映したプランニングがなされている。」と、壇上で紹介され、中小企業庁長官賞という賞を受け取りました。

家具・インテリア用品、住宅設備部門の審査員からは、「とくに家具に関しては、林業～製材業～家具産業と一元的な業界が多い故か、広がり乏しい。異業種のハード、ソフトを取り込むことで、企画力、

技術力が伴った「次世代の暮らしや社会に繋がるものづくり」を創造してゆかなければならない」とコメントがありました。

インテリア部門で受賞した、HABITAインテリアキャビネットは、木材「現し」のインテリアに合う仕様のバリエーションと、可変性の高いパーツで構成された間仕切り家具収納で、永い将来のことを考えた家づくりから生まれたキャビネットです。次世代の暮らしに繋がるモノづくりを認められた喜びを胸に、賞状を受け取りました。

良いデザインは、 モノからコトへ

グッドデザイン賞は、今年から新体制をとり、デザインにより生活が豊か

になる効果を尊重して、生活者の目線に立ったデザイン評価が方針として示されました。審査理念として、
・人間「もの・ことづくりへの発想力」
・本質「現代社会への洞察力」
・創造「未来を切り開く構想力」
・魅力「豊かな生活文化への想像力」
・倫理「社会・環境への思考力」
を掲げています。

単に格好が良い、デザインに優れているというだけでは、認められないのです。現物のデザインという「もの」ではなく、現象という「こと」にもデザインがあると着目されている傾向があることがわかりました。

受け継がれるデザインは、その「もの」にも「こと」にもしっかりとコンセプトがあることが大切で、まさにHABITAの家づくりにも同じことが言えます。今回受賞した3商品どれをとっても、「こと」に対してのデザインが優れていたから、受賞できたのだと表彰式に参加して改めて感じました。長官賞を受賞した「みんなの家」は特に、家族の形をテーマにした住宅です。これから家づくりを考える方は、住宅のデザインだけで判断するのではなく、「こと」に目を向けてみれば、それぞれの企業姿勢や考え方が、しっかりと見えてくるでしょう。もしかすると、家づくりを始める上で、本当は一番最初にしなければならないことかもしれません。一度、そういった目線で見るのも、大切なことです。

ミニナルマドリ

妻入りの玄関

日本の古民家に出会うと、その多くが平入りでできている。つまり軒先をくぐるようにして、家の中に入る。京町屋も道路側に一文字の瓦の先が見えている。

一方、西洋の伝統では出入り口の上にペディメントという三角屋根をつける。つまり、妻入りの玄関が伝統になっているのである。

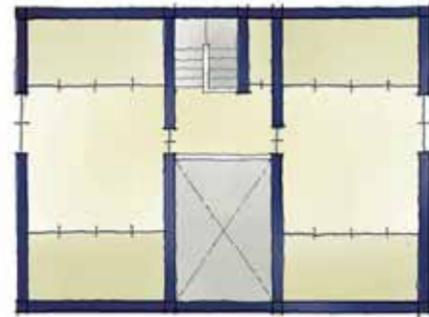
小屋裏を利用した2階建ての家は、全世界に建っているが、日本の住宅として玄関の位置を妻入りにしただけで、新鮮な間取りになる。なおかつ最も一般的な現代の間取りになる。



岩瀬牧場 39坪



1階 21坪



2階 18坪



403 住まいの
オーダーメイド館

レールシェルフ

「見せる収納」がコンセプトの飾り棚で自分で付けられます。ネジ穴が見えず「作り付けのよう

というところがポイント。

棚板の材質アルミ、ガラス、ヒノキ、それぞれにオーダーメイドの形状、奥行きや長さ(2mまで)で製作可能。

アルミは先端に倒れ止めの付いた小さな奥行き棚。ガラスは光をさえぎらず、重ねても明るく使える棚。ヒノキは柔らかな手触りとヒノキの香りが楽しめる棚。スパイスラック、化粧

品、CDジャケット、文庫本など住まいの中を美しく収納。専門店でも多くの場面で採用されています。

財団法人大阪デザインセンターの「中小企業優秀賞」、インテリアライフスタイル展2007の「インテリアデザイナー協会賞」を受賞した製品です。



住まい文化の葉

とりの1

建築の世界に動物の名前を探すと、昔の人の思いがわかります。「とり」に因んだものを広く捉えると、たくさんあります。しかし「鷄」に限定するとあまりありません。

一番単純に連想されるのは、鳥居ではないかと思えます。清められた地との境であり、神に供えた鷄の止まり木という説があります。様式も諸々ありますが、いかにも鳥が止まりそうな形状です。従って2本の柱とその上端を結ぶ横架材があれば「鳥居」と呼ぶことが多くあります。小屋組の中にも鳥居束が見られ、和船の船尾にも鳥居立があります。

興味を引くのは、鳥居の一番上の材を島木と言ひ、島は「嶋」と書けば鳥と深い関係があります。広島の大島神社の鳥居を思い浮かべると、海洋民族としての歴史を感じさせてくれます。

さらに鷄から離れてさまざまな鳥の名前を探すと興味を引くものがたくさんあります。

日常的に使っている言葉の中からは、「鴨居」があります。わざわざ説明するほどのことではありませんが、引き戸の障子をはめ込む枠の上側のこ

とです。反対の下枠のことは一般的に「敷居」と言います。



実はこの語源として「鴨居」という説があります。つまり上枠が鴨で下枠が鴨なのです。どちらも水鳥であり、火事厄除けの思いが込められています。さらに鴨と鴨の文字を見ると、どちらも田と関連の深い鳥でもあります。田は水を張り水平が保たれているように、鴨居も鴨居も水平が命です。昔の人の思い入れが感じられます。

「鶯」の名もよく使われています。人が歩く度に鳴るように作られた板張りの床を「鶯張り」と言います。鳴き声を例えているのでしょうか。

さらに鶯垣とは簡素な柴垣の一種です。木の枝などを割竹で挟んで作られたもので、庭園内の仕切りとして使われています。また、香道で使う金串をやはり鶯と呼び、これを模した木釘や竹串の一種を鶯と呼ぶことがあります。

住 健 住 康

じゅうけんじゅうこう

住まいの色と健康

ストレスを解消させる中間色

和室がストレスを解消するって本当でしょうか。実は、和室は全体が中間色の色調でまとまっているので、ストレスを解消する効果があるのです。

私たちの身体は光や色によって筋肉反応を起こします。この反応の度合を専門的にライトトナス(光や色に対する筋肉組織の緊張度)と呼んでいます。中間色の代表であるベージュのライトトナスの数値は23、これは筋肉緊張度が最も弛緩した状態の値です。ちなみに青は24、緑が28、黄が30、橙35、赤は42で最大値です。

また、ベージュは私たちの肌の色と同系色、類似色になっています。ベージュが人をリラックスさせる理由としてカムフラージュする迷彩色の効果があります。遠い祖先から幾世代にも受け継が

れた人間の本性に根ざしたもので、同系色なら目立たないし、敵の襲撃からも身を守れる保護色となり、安心感につながるのです。

日本人は色を引き立てるための色「捨色」を使うことに優れています。中間色はその捨色に最適です。和室は中間色の木材、畳、壁などが視空間の70%の面積を占め、あとの25%は捨色と同系色の障子やふすまの白、ときには類似色(くすんだわさび色ウグイス色の京壁)です。そして残りの5%だけが思い切った純色(花瓶や赤や紫の袱紗など)を使ってちょっぴり生気を添えています。

ストレスを解消して、心を落ち着ける空間を、私たちは昔から暮らしに取り入れていたのです。



WHAT'S THE BEST KITCHEN?

理想のキッチンってなんでしょう？

元気な身体をつくるおいしいごはん
毎日毎日、キッチンからうまれます。
おいしいごはん、それは心のこもったごはんです。
ごはんを囲んで家族の心が集まる。
YAJIMA はそんなキッチンの理想を考えました。

株式会社 矢島 本社/〒184-8502 東京都小金井市本町4-1-3 TEL:042-381-1431 FAX:042-381-2484

アルミインテリア建材・間仕切り Sliding partition



ビュライ
Beauli SHINNIKEI
新日軽

部屋と部屋を、ドアや壁で仕切るのではなく、ゆるやかにわけあう発想をとりいれてみませんか。モダンな半透明パネルと和風テイストにもマッチするブラウンの格子タイプをご用意した可動式の間仕切り。光と家族の気配を感じながら時間を過ごす、新しい暮らしのスタイルです。

開放感をいかし、ゆるやかに仕切る。視線を柔らかくさえぎり、落ち着きを生む。

新日軽株式会社 本社/〒136-0076 東京都江東区南砂2-7-5 TEL 03-5677-8661 FAX 03-5677-8783

Green Earth

改めて、地球温暖化を考える。

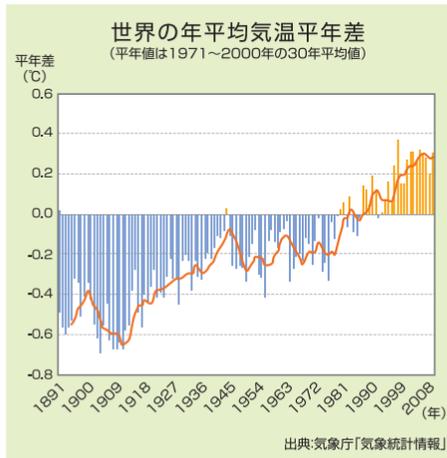
2100年、東京の平均気温は、現在の那覇の平均気温になる。

地球が誕生してから46億年、地球は、太陽から光と熱を受け続けています。つまり、地球は常に温めつけられてきた訳ですが、海が干上がったたり、陸がみんな砂漠にならなかったのには、理由があります。地球が太陽から受けるエネルギーと、地球から宇宙に放出するエネルギーの微妙なバランスがとれていたからです。この放出するエネルギーのほうが上回ると、地球の気温は急激に下がり、地球全体が厚い氷に覆われる「全球凍結」という状態になってしまいます。地球は、この「全球凍結」を何度か経験してきました。「全球凍結」を防いできたのが、現在問題になって

いる、二酸化炭素などの温室効果ガスです。

地球の微妙なバランスをとってきた温室効果ガスの濃度が高まって、現在、地球がどんどん温まっています。原因は、人間が地下の化石燃料を掘り出し、燃やし続け、大気中の二酸化炭素を増やしたことが、主な原因といわれています。170年前の産業革命以前の大気中の二酸化炭素濃度は約280ppmでしたが、現在は381ppmに増えています。

100年間で地球の平均気温は0.6℃上がりました。このままだと、2100年には、1990年に比べ1.4~5.8度も上がることが予想されています。現在、東京の年間平均気温が16.2℃ですから、それが、沖縄の那覇並みになるということです。当然、農業への影響もあり、生物の環境も変わり、樹の分布や森林に住む生物にも大きな影響が出ます。地球温暖化は、実は大変なことなのです。



5th Room

暮らしの価値

海外では、ガーデンの暮らしを提言しながら、花や緑を約半分近く売り場に取り込んだ大型店をガーデンセンターといいます。

ドイツにデナーというガーデンセンターがあります。お店は、季節の花やガーデンの空間に満ち溢れ、ガーデンを彩るインテリアや雑貨、キャンドル、おいしい手ごろなワインなどが山のように積み重ねられています。秋には、ジャパニーズメイプル(もみじ)やたくさんのアジサイ、またポットマムやガーデンマムといわれる菊が多く売られてい

ます。日本の盆栽や灯笼、ブツタ(お坊様の仏像)も売られており、大変な日本ブームでもあります。

先日、世界のガーデンセンターの大会が日本で行われました。世界17カ国200名余のオーナーが、東京から京都まで、各地を回りました。日本をはじめ、イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ、デナーがあるドイツなど多くの国が加盟し、長い歴史の中で開催されています。ところがアジア



DAISHU HABITA

千葉県市川市の提携企業、株式会社DAISHUを訪れた。千葉を中心に東京、埼玉、茨城へと広い範囲で活動をしている。

お客様に『ちょうどいい』住まいづくりをご提案し、建築を通じてご家族の幸せと思い出づくりのお手伝いをしたいと、石井誠一社長。

「せっかくマイホームを手にしても、オシャレはがまん、食卓からはおかずが一品減ってしまう...では、本当の幸せな暮らしとは言えないでしょう。」ローン設計等の金銭面のサポートはお客様の幸せを考える上で

最も重要だという。また健康や環境への配慮も日々研究しており、新しく建設しているHABITAのモデルでは「健康な住まい」「地球環境を大切にしたい家づくり」をスローガンに、太陽光発電や光冷暖房、エネファームの導入等、最先端技術の導入を考えているという。

「2代3代と受け継がれていく大切な家。その家づくりの中で、DAISHUさんと大切な出会いをさせていただきました。これからも宜しくお願い致します。」と笑顔で語られていたお客様を思い出し、「人と人との繋がりを大切にしたい」と語られていた社長の言葉を実感した。



住まいづくりにちょっと役立つドキュメントTV

HABITA/TV

HABITA/TV

株式会社DAISHUの詳しい内容はHABITA/TVの3ch「HABITAオフィス紹介」で紹介しています。



木材は再生可能な資源。日本の木のこともっと、子どもたちに。

木の家をつくるのに木材はとっても必要なものなんだ。また、その木材の元になっている樹木は地球が育てている大切な天然資源。しかも「伐ったら植える」という基本が守られていけば、再生可能な資源なんだよ。

樹木を育てて守ってあげるとは、地球の自然を守ることになってるんだ。木材が地球環境と深い縁があることを、子どもたちにも伝えてほしいな。

での加盟は日本のみで、開催も日本が初めてでした。

オープンガーデン発祥の地、イギリスの王立協会が長期にわたり園芸の歴史を育ててきましたが、日



Takasho

「ポーチガーデン®」 家と庭をつなぐ、もう一つの部屋。

詳しくはホームページへ!



折戸パネル仕様で、フルオープンにすれば開放的なガーデンルームに。



ライティングをプラスして、夜でも快適なくつろぎの空間をつくれます。



屋外で気軽に家族団らんが楽しめるもう一つのリビングとして。



Following the living room, dining room, kitchen, and bed room, the "5th room" is the waiting for a new happy lifestyle.
5th ROOM
L+D+K+B & G (5部屋の部屋)

やすらぎのある空間づくり
株式会社タカショー 和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017 お客さまサービスセンター 0120-51-4128

